

熱川温泉病院

大塩 香織(リハビリテーション部 主任/ 理学療法士)

榎本 典子(リハビリテーション部 /理学療法士)

功 績 東伊豆町が推進する介護予防・健康増進事業において、「サポーター育成講座」の講師を務め、地域住民の健康増進と行政との連携強化に大いに貢献した功績。東伊豆町の役場とは密接な関係を構築してきたが、本件により地域住民と直接的な繋がりを一層強めることができた。「リハビリは熱川温泉病院」という認知度向上に資する活躍であり、その意義は大きい。

推薦者氏名 小山内 隆(リハビリ部長)

推薦理由 大塩と榎本はチャレンジ精神と責任感に溢れ且つ周りへの気遣いができる職員です。リハビリ部で携わっている東伊豆町の介護予防・健康増進事業に派遣し、安心して講師を任せることができております。当院で力を入れている周辺住民へのアウトブランディングと行政との連携の強化に貢献しておりますので、理事長賞へ推薦申し上げます。

内 容

理学療法士の大塩主任と榎本副主任は日頃より責任感を持って業務に取り組み、後輩への指導も丁寧で信頼が厚く、部署内外から頼りにされる存在です。また、院内業務にとどまらず、当院が地域貢献活動として取り組んでいる「けやきマルシェ」出店や、「こどもおとな食堂」などのボランティア活動にも積極的に参加し、地域とのつながりを大切にしながら当院の理念実現に尽力してきました。

そんな両名の活動で今回取り上げたいのが、東伊豆町が推進する介護予防・健康増進事業において、「サポーター育成講座」の講師を務め、行政と連携しながら地域住民の健康増進に大きく寄与した点です。

東伊豆町では、「お達者年齢(健康に自立して生活できる期間)」が県内で低い状況にあり、健康寿命を長くできるかが重要課題となっていますが、従来の行政主体による健康教室は、開催頻度や参加者の固定化などの課題があり、住民が継続的に運動へ参加できる仕組み作りが求められていました。これを受け、町では住民による自主サークル活動へ移行し、地域住民が主体となって健康づくりを支える体制への転換を進めています。

両名はその中核を担う地域ボランティアである「サポーター育成講座」について、東伊豆町より委託を受け、講師として活動しております。4月に開催された第1回講座では、町内の50代から70代の約30名を対象に、「高齢者の特徴と運動・体操の効果」をテーマとした講義を実施し、高齢者の身体的・心理的特徴、フレイルやサルコペニア予防、転倒予防、自立支援の重要性について説明しました。さらに、いきいき百歳体操やペットボトルを用いた体操の実技指導も行いました。参加者からは「説明が分かりやすい」「サポーターとして必要な知識を得ることができた」と高い満足度を得ております。

これらの活動は、同時に行政からも高い評価を受け、「是非今後とも協力してほしい。」との熱心な働きかけもあり、継続して講師を任される予定となっております。当院リハビリ部の職員として持てる専門性を地域へ還元し、病院の信頼と評価を高め、行政との連携強化に大きく貢献した功績は誠に顕著であり、理事長賞にふさわしいものと考えます。